

第2学年 国語科学習指導案

日 時 令和2年11月12日 6校時

児 童 2年1組 男子4名 女子6名 計10名

指 導 者 山本 誠也

1. 単元名 自分とくらべて感想をもつ～あったよ、聞いて聞いて～

教材名 「わたしはおねえさん」 (10時間)

2. 教材について

「わたしはおねえさん」は、児童と同じ2年生である「すみれちゃん」が中心人物の物語である。主人公の行動や主人公のまわりで起こる出来事は、実際に似たような体験をしている児童も多いと考えられる。また主人公の言動からは、自分よりも幼い立場にある妹を理解し、理不尽な対応にも優しく接することができるまでの主人公の心の葛藤も表されている。主人公と妹の気持ちのすれ違いから、心が通い合うまでの心の動きを考えていくことで、主人公の心の成長に気づくことができる。子どもたちにとっては、身近に起きそうな出来事なので親近感を持ちながら読むことができ、さらに自分の経験や既存の知識をもとに主人公と比べながら読み進めることに適した教材であると考えられる。

3. 児童について

児童は、これまでに1年生で、多くの物語教材を通して登場人物の行動を中心に場面の様子を想像しながら読み進める学習を行っている。また、2年生「ふきのとう」では、登場人物の言動から登場人物の気持ちや場面の様子を想像して、語のまとまりや響きに気をつけて音読する学習を行っている。さらに、2年生「スイミー」では、物語を人物の行動を中心に想像を広げながら読んで理解したことに基づいて、物語に対する自分の感想や考えをもつ学習をしてきた。その中で登場人物の会話や行動から主人公の気持ちの変化を読み取り、自分の経験やもし自分がスイミーだったらと想像を広げ、紹介文を書く力をつけてきた。一方で登場人物の行動を中心に場面の様子を想像しつつ、「もし自分だったらどうするか・・・」と主体的な態度で読み取ったり、自分の思いや考えをまとめて表現したりする力に関しては課題がみられる。

本単元の学習を通して、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、叙述を根拠にして読む意識を持ち、場面の移り変わりや人物の言動を結び付けながら、物語から受け取ったことについて多様な感想をもつ学習を行いたい。

4. 指導にあたって

本単元では、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり表現の効果について考えたりすること、文章を読んでまとめ、一番心に残ったことについて、その理由と自分の経験や既存の知識をもとにした感想をもつことができることを重点として指導する。そのために、登場人物の行動や会話を中心に場面の様子を具体的に想像したり、既習事項と自分の経験を結びつけて考えたりして、感想をもつ学習を行う。また、単元の始まりと終わりに、物語を読んで受け取ったことについて感想をもつ言語活動を位置付け、児童が自分の学びと成長を感じられるようにしたい。

児童が単元を通して資質・能力を身に付けていくために、下記の点を工夫して指導にあたりたい。

単元の導入においては、これまで物語を読んで感想を書いたことを想起させ、物語を読んで主人公の心情の変化を読みとり、一番心に残ったことを自分と比較しながら、感想としてまとめることを意識づける。

構造と内容の把握では、登場人物の言動から考えてその人物像を読み取り、内容の大体を捉える。

精査・解釈では、児童たちの心に残った主人公の行動は何かを取り上げたり、その時の主人公の心情の変化を考えたりすることで、詳細に読む必要性を感じさせる。そして、登場人物の行動や気持ちの変化について、叙述をもとに解釈することができるようにしていく。

考えの形成では、精査・解釈で考えてきたことを基にして、この物語から感じたことについて文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもたせる。その際には、主人公の行動や心情の変化などを根拠とし、多様な感想を交流できるようにしていく。

共有・振り返りでは、友達と自分が一番心に残った主人公の行動に対する主人公と自分を比べた感想の違

いに気付かせ、自分の考えが深まったり広がったりしたことに気付くことができるようにしたい。

5. 本時の指導（8・9／10）

(1) 本時の目標

一番心に残った主人公の言動を選び、自分と比べたり重ねたりして、思ったことを話すことができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	学習内容	指導上の留意点と評価
つかむ 5	<p>1. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">すみれちゃんとじぶんをくらべてみよう。</div> <p>2. 学習を見通す。</p>	<p>・「すみれちゃんの言動」で一番心に残ったことについて、その理由と自分とを比べた感想をもつこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を確認し、学習の見通しを持たせる。 ・主人公の言動や気持ちの変化を基にして考えるようにさせる。
考える 75	<p>3. 課題を解決する。</p> <p>(1) 一番心に残った主人公の言動と自分と比較しての感想を考える。</p> <p>【個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書きためていたカードの中から一番心に残っていることが書かれたカードを選び、主人公と自分との比較を考え、付箋に書いて貼る。 <p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたことについてグループで交流をする。 ・交流しながら追加や修正を随時行う。 <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人やグループで考えたことをもとにして、全体で話し合う。 ・根拠や理由を述べながら友だちとの共通点や相違点を見つける。 <p>(2) 考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことも自分の考えに入れながら課題に対しての考えをまとめる。 	<p>○自分と比較したことを明らかにして、感想を話すこと。</p> <p>○心に残った観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分だったらこうするよ」 ・「自分にも似たようなことがあったよ」 ・「自分の家族で見たことがあったよ」 ・「似たような本を読んだよ」 ・「勉強して考えたことは～」 <p>○お互いの感想を認め合い、交流し合う。</p> <p>○友だちの考えと同じ点や違う点を意識しながら話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の言動で一番心に残ったことは、どれか考え、自分を比較し思ったことを数名に述べさせる。 ・観点を一つずつだし、すぐに話せそうな児童に話させ、書き方の例として紹介し参考にしていいことを知らせる。 ・個人やグループで感想をメモしている途中でも書いてくる子がいれば取り上げて紹介する。 ・書けない子は、担任と一緒に考えさせる。 ・問い返しによって児童の感想を深く掘り下げる。 ・付箋の記述を参考にしながら、課題に対しての自分の考えをまとめさせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>感想(例) わたしがいちばんこころにのこったところは、「じっと、ノートを見ていました。」のところです。 わけは、すみれちゃんがかわいそうだとおもったからです。 わたしだったら、らく書きされたらおこっかかりんちゃんをなかせてしまうかもしれません。</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 主人公が言動で一番心に残ったことと自分とを比較して思ったことや友だちとの交流から付け足したことなどを書いて感想をもとうとしている。(記述)</p> </div>

振り返る 10	<p>4. 振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習の振り返りを行う。 	<p>○学習したことや友だちの考えのよさについて振り返ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだことや友だちのよさを発表し、学習した内容を振り返ることができるようにさせる。
------------	--	-------------------------------------	---

板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちのよさ。 ・ 今日学習したこと。 	<p>自分とくらべて、かんそうを書こう</p> <p>わたしはおねえさん</p> <p>くあったよ、聞いて聞いて</p> <p>【学習課題】</p> <p>すみれちゃんとしぶんをくらべてみよう</p> <p>【見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すみれちゃんがしたこと、いちばんころにのこっているところが書かれたカードをえらぶ。 ・ えらんだりゆうを書く。 ・ 観点にそってかんそうをもち、ふせんにメモする。 ・ おなじカードをえらんだものどうしで、感想を交流する。 <p>【カードのしゅるい】</p> <p>「それで、じつと、ノートを見ていました。」</p> <p>・ すみれちゃんがかわいそうだから。</p> <p>・ わたしだったらおこってる。</p> <p>「じつと。ずっと。」</p> <p>・ すみれちゃんがいつしゅうけんめい考えているから。</p> <p>・ 自分もおころうか、ゆるそうかかんがえるな。</p> <p>「すみれちゃんはわらいだしました」</p> <p>・ 妹がかわいく思えたから。</p> <p>・ 自分だったら、やっぱりゆるせないな。</p> <p>「けしかけて、でもけすのをやめて、すみれちゃんは、つぎのページをひらきました。</p> <p>・ やさしいなと思ったから。</p> <p>・ すみれちゃんは、わたしよりずっとおねえさんだと思っから。</p> <p>【まとめ】</p> <p>・ わたしがいちばんころにのこったところは、「じつと、ノートを見ていました。」のところは、すみれちゃんがかわいそうだと思っからです。</p> <p>わたしだったら、らく書きされたらおこっかかりんちゃんをなかせしてしまうかもしれません。</p> <p>【ふり返り】</p>
--	--